

国情研コ第169号
令和8年3月9日

国立大学図書館協会
公立大学図書館協会 各加盟館の長 殿
私立大学図書館協会

これからの学術情報システム構築検討委員会 委員長
中央大学文学部 教授
小山 憲 司

電子リソースデータ共有サービス（NII-DEER）に関する現状と
今後に関するアンケートへの回答について（依頼）

平素より大変お世話になっております。

国立情報学研究所では、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）および本委員会と連携して、紙と電子を統合した総合目録を構築することを目指し、図書館が契約している電子リソース（電子ジャーナル、電子ブック等）の利用者サービスの品質向上や業務効率化のため、「電子リソースデータ共有サービス（NII-DEER）」を提供しています。

本委員会では、NII-DEERのサービスの在り方（利便性や満足度の向上ならびに有償化や廃止を含めたサービス形態・範囲・対象の見直し）について、ユーザーニーズや費用対効果を含めた様々な観点から再検討を行います。その検討材料として、現状の利用状況や今後の利用可能性を図ることを目的としたアンケート調査を実施します。

このアンケートは図書館職員の声を広く収集することを目的としているため、個人による回答をお願いしております。各機関におかれましては、所属する職員の皆様に周知していただきますよう、お願いいたします。

回答期間が短く恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 回答方法： 以下のフォームから回答をお願いいたします
<https://forms.gle/XyDaRcmHFfaYHbX387>



2. 回答期間： 令和8（2026）年3月9日（月）～3月27日（金）

3. 回答対象者： 電子リソースのタイトルリスト等を取り扱う業務に対し、関心がある方や従事した経験を有する方

※ より多くのご意見を収集するため、業務担当者個人による回答をお願いいたします。

※ 個人による回答が難しい場合は、機関ごとに取りまとめのうえご回答ください。

以上

(参照)

本サービスに関する全体像は、以下のページをご覧ください。

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw>

本サービスに関する詳細は、以下のサービス紹介動画をご覧ください。

1. 「NII-DEER でできること・めざすこと—統合的発見環境の実現を求めて」
<https://youtu.be/G2OvkRQtPK0> (11分29秒)
2. 「ERMS でできること—NII-DEER との連携」
<https://youtu.be/jerlviiisRs> (8分35秒)

本件に係る問い合わせ先：
これからの学術情報システム構築検討委員会事務局
E-Mail: co_korekara@nii.ac.jp

電子リソースデータ共有サービス(NII-DEER)に関する現状と今後に関するアンケート

1. あなたと所属機関について

- 年齢を教えてください(必須、選択式、単一回答)

20代 30代 40代 50代 60代以上

- 図書館業務に従事した経験年数を教えてください(必須、選択式、単一回答)
※専任、非専任は問いません。

半年未満 半年～1年未満 1年～3年未満 3年～5年未満 5年～10年未満
10年～20年未満 20年～30年未満 30年～40年未満 40年以上

- 現在の担当業種を教えてください(必須、選択式、複数回答)

受入・契約業務 レファレンス業務 閲覧業務 電子リソース業務
ILL・文献複写業務 システム業務 図書館総務
学習支援業務 研究支援業務 その他[]

- 過去に従事したことのある業種を教えてください(必須、選択式、複数回答)

受入・契約業務 レファレンス業務 閲覧業務 電子リソース業務
ILL・文献複写業務 システム業務 図書館総務
学習支援業務 研究支援業務 その他[]

- 電子リソース業務に現在または過去に従事したことがある方は、業務の経験年数を教えてください(必須・選択式、単一回答)
※専任、非専任は問いません

経験なし 半年未満 半年～1年未満 1年～3年未満 3年～5年未満
5年～10年未満 10年～15年未満 15年以上

- 所属機関を教えてください(必須、記述式)

- 所属機関の規模(教職員数・学生数)を教えてください(必須、記述式)
※ 非常勤教職員を除く。概数でも構いません。

- 現在、電子リソースの契約を担当しているかどうかを教えてください(必須、選択式、単一回答)

※ 担当対象は図書・雑誌・データベース等、種類を問いません

① はい (→契約状況)

② いいえ(→JUSTICE 会員館かどうか)

● 所属機関の電子ジャーナルの契約出版社・プラットフォームの数を教えてください(必須、記述式)

※わからない場合は、「不明」とご記入ください。

● 所属機関の電子ブックの契約出版社・プラットフォーム(KinoDen、Maruzen eBook Library など)の数を教えてください(必須、記述式)

※わからない場合は、「不明」とご記入ください。

● 所属機関では、電子リソース管理システム(電子ジャーナルや電子ブックのタイトルリストやライセンス情報等の管理や公開を行うシステム。以下「ERMS」という。)を利用していますか (必須、選択式、単一回答)

① 利用している

② 利用していない

③ わからない

● 所属機関が JUSTICE 会員館かどうかを教えてください(必須、選択式、単一回答)

① はい (→2)

② いいえ(→6)

2. 【JUSTICE 会員館向け】

電子ジャーナルや電子ブックのタイトルリストについて

[Title-JUSTICE](#) は、JUSTICE 提案書の別紙等で提供される電子リソースの「タイトルリスト」を、システムでの利用を前提に項目化したサービスです。タイトルや出版社、オンラインで利用可能な出版年や巻号、URL などのアクセス情報を提供しています。活用することで、契約タイトルを正確に把握したり、OPAC 等への登録に活用したりすることができるようになります。

2-1 Title-JUSTICE のサービスを知っていましたか(必須、選択式、単一回答)

① 知っていた

② 知らなかった

2-2 Title-JUSTICE のサービスを利用したことがありますか(必須、選択式、単一回答)

① 利用したことがある (→3)

② 利用したことがない (→2-3)

「2-2」で「② 利用したことがない」と回答された方へ

2-3. Title-JUSTICE のサービスを利用していない理由を教えてください(必須、選択式、複数回答) (→7)

- ① 担当業務ではない
- ② 自機関で JUSTICE 提案のパッケージを契約していない
- ③ 自機関では電子リソースのタイトル管理を行っていない
- ④ 人員が少なくタイトルリストを利用する余裕がない
- ⑤ タイトルリストを利用してみたいが、具体的な使い方がわからない
- ⑥ 自機関の図書館システムやリンクリゾルバ等では Title-JUSTICE を活用するための機能がない
- ⑦ 自機関で契約する電子リソースのタイトルリストが提供されていない
- ⑧ 自機関で必要とするデータ項目が不足している
- ⑨ 自機関で必要とするデータ内容と差異がある
- ⑩ 更新頻度が低い
- ⑪ その他()

3. 【JUSTICE 会員館向け】

電子ジャーナルや電子ブックのタイトルリストの活用状況について

3-1 Title-JUSTICE を利用していて、便利だと感じる事項はありますか(必須、選択式、複数回答)

- JUSTICE 提案書のタイトルリストを 1 つのサイトから手軽に入手できる
- 版元によらず、フォーマットが統一されている
- 契約しているディスカバリーサービスやリンクリゾルバとの連携を行いやすい
- 商用のディスカバリーサービスやリンクリゾルバのナレッジベースに登録されており、簡単に利用設定ができる
- 正確なタイトルリストを把握できる
- その他(以下の欄にお書きください)

3-2 Title-JUSTICE を利用していて、不便だと感じる事項はありますか(必須、選択式、複数回答)

- 契約している版元のタイトルリストが少ない
- 契約している版元のタイトルリストが含まれていない
- OPAC への取り込みが面倒

- 更新頻度が低い
- その他(以下の欄にお書きください)

3-3 Title-JUSTICE についてご意見があればご自由にお書きください(任意)

4. 【JUSTICE 会員館向け】

電子ジャーナルや電子ブックのライセンス情報について

[License-JUSTICE](#) は、JUSTICE で提案された電子リソースの「ライセンス」の情報をシステムでの利用を前提に項目化したサービスです。活用することで、利用条件等を可視化することができ、契約に基づく適切な利用管理や、利用者からの問い合わせ対応、ILL 依頼時の自機関や相手先機関の契約の有無や利用条件を確認する際に効率化を図れます。

4-1 License-JUSTICE のサービスを知っていましたか(必須、選択式、単一回答)

- ① 知っていた
- ② 知らなかった

4-2 License-JUSTICE のデータを自機関で利用したことがありますか(必須、選択式、単一回答)

- ① 利用したことがある (→5)
- ② 利用したことがない (→4-3)

「4-2」で「② 利用したことがない」と回答された方へ

4-3. License-JUSTICE のサービスを利用していない理由を教えてください(必須、選択式、複数回答) (→7)

- ① 担当業務ではない
- ② 自機関で JUSTICE 提案のパッケージを契約していない

- ③ 自機関では電子リソースのライセンス管理を行っていない
- ④ 人員が少なくライセンスデータを利用する余裕がない
- ⑤ ライセンスデータを利用してみたいが具体的な使い方がわからない
- ⑥ 自機関の図書館システムやリンクリゾルバ等では License-JUSTICE を活用するための機能がない
- ⑦ 自機関で契約する電子リソースのライセンス情報が提供されていない
- ⑧ 自機関で必要とするデータ項目が不足している
- ⑨ 自機関で必要とするデータ内容と差異がある
- ⑩ その他()

5. 【JUSTICE 会員館向け】

電子ジャーナルや電子ブックのライセンス情報の活用状況について

5-1 License-JUSTICE を利用していて、便利だと感じる事項はありますか(必須、選択式、複数回答)

- JUSTICE 提案書のライセンス情報を手軽に入手できる
- 契約している版元のライセンス情報が多く含まれている
- API を利用できる
- OPAC 等のシステム上で利用者にライセンス情報を周知できる
- 恒久的アクセス権の有無がわかるため、電子リソースの資産管理が効率的に行える
- 他館の OPAC 等で公開されているライセンス情報を確認でき、ILL の可否を判断できる
- 特になし
- その他(以下の欄にお書きください)

5-2 License-JUSTICE を利用していて、不便だと感じる事項はありますか(必須、選択式、複数回答)

- 契約している版元のライセンス情報が少ない
- タイトルリストとの照合が面倒
- 図書館システムと連携させるための方法がわかりづらい
- 公開できるライセンス項目が少ない(版元が非公開にしている)
- 特になし

その他(以下の欄にお書きください)

5-3 License-JUSTICE についてご意見があればご自由にお書きください(任意)

6. 【JUSTICE 非会員館向け】

電子ジャーナルや電子ブックのタイトルリストについて

[Title-JUSTICE](#) は、JUSTICE 提案書の別紙等で提供される電子リソースの「タイトルリスト」を、システムでの利用を前提に項目化したサービスです。タイトルや出版社、オンラインで利用可能な出版年や巻号、URL などのアクセス情報を提供しています。活用することで、契約タイトルを正確に把握したり、OPAC 等への登録に活用したりすることができるようになります。

6-1 Title-JUSTICE のサービスを知っていましたか(必須、選択式、単一回答)

- ① 知っていた
- ② 知らなかった

電子ジャーナルや電子ブックのライセンス情報について

[License-JUSTICE](#) は、JUSTICE で提案された電子リソースの「ライセンス」の情報をシステムでの利用を前提に項目化したサービスです。活用することで、利用条件等を明確化することができ、契約に基づく適切な利用管理や、利用者からの問い合わせ対応、ILL 依頼時の自機関や相手先機関の契約有無等の確認の効率化を図れます。

6-2 License-JUSTICE のサービスを知っていましたか(必須、選択式、単一回答)

- ① 知っていた
- ② 知らなかった

7. 国内の電子ブックのメタデータについて

[Bibdata-EBook](#) は、電子ブックベンダー等から収集・統合した、主として日本語の電子ブックメタデータを共有するサービスです。将来的には、所蔵データを取り込み、電子リソースの総合目録を構築することを目指しています。

7-1 Bibdata-EBook のサービスを知っていましたか(必須、選択式、単一回答)

- ① 知っていた
- ② 知らなかった

7-2 Bibdata-EBook のサービスを利用したことがありますか(必須、選択式、単一回答)

- ① 利用したことがある
- ② 利用したことがない (→9)

8. 国内の電子ブックのメタデータの活用状況について

8-1 Bibdata-EBook を利用していて、便利だと感じる事項はありますか(必須、選択式、複数回答)

- 複数の電子ブックベンダーのデータを統合的に検索できる
- 図書館システムとの連携で API を利用できる
- MARC21 形式でメタデータを確認できる
- 契約している電子ブックの本文リンクを CiNii Research で利用できる
- 電子ブックを提供している電子ブックベンダーを把握できる
- その他(以下の欄にお書きください)

8-2 Bibdata-EBook を利用していて、不便だと感じる事項はありますか(必須、選択式、複数回答)

- メタデータをダウンロードできない
- 図書館システムとの連携方法がわからない
- 他館の電子ブックの所蔵がわからない
- 海外の電子ブックの情報が少ない
- 電子ジャーナルが含まれていない
- その他(以下の欄にお書きください)

8-3 Bibdata-EBook についてご意見があればご自由にお書きください(任意)

9. 電子リソースデータの利活用について

9-1. 電子リソース業務に関して、各項目の必要度を 4 段階で評価してください。なお、各項目は NII-DEER で、既に実現済みの機能です。(非常に必要である、必要である、やや必要である、あまり必要ではない、必要ではない、わからない) (必須、選択式、複数回答)

- ① リモートアクセスや学認など、利用者の学外からのアクセス環境を確認できる
- ② OPAC 等へのタイトルリストやライセンス情報の登録を効率化する
- ③ 電子リソースの契約タイトルを正確に把握する
- ④ 電子リソースのライセンス情報を正確に管理する
- ⑤ 電子リソースを出版社との Agreement や利用規約に基づき、適切に利用管理する
- ⑥ Walk-in-User の利用可否への対応など、利用者対応を効率化する
- ⑦ 契約している電子ブックの本文リンクを CiNii Research で利用する

9-2. 電子リソース業務に関して、各項目の期待度を 4 段階で評価してください。なお、各項目は NII-DEER で、実現を目指している機能です。(非常に期待する、期待する、やや期待する、あまり期待しない、期待しない、わからない)(必須、選択式、複数回答)

- ① NACSIS-CAT のような電子リソースの総合目録を構築することができる
- ② 紙と電子リソースの書誌のマッピングを作成し、統合的な発見環境を構築する
- ③ 電子ブックの書誌の一括ダウンロードができる
- ④ 書店の発注システム (Knowledge Worker、PLATON など) で電子ブックを購入すると、自動で総合目録へ所蔵登録ができる
- ⑤ 書店の発注システム (Knowledge Worker、PLATON など) で電子ブックを購入すると、自動で図書館システムにおいて発注処理を行える
- ⑥ 他館の電子リソースの所蔵とライセンスを把握した上で、電子ファイルによる ILL ができる
- ⑦ JUSTICE 提案書に含まれない出版社 (KinoDen、Maruzen eBook Library など) のライセンス情報を把握できる

9-3. あなたは、電子リソースデータを活用する場合に NII-DEER のサービスを活用したいですか (必須、選択式、単一回答)

- ① 有償でも活用してみたい

- ② 無償であれば活用してみたい
- ③ 活用したいと思わない
- ④ わからない

10. 電子リソースデータの活用方法について

電子リソース管理システム(Electronic Resources Management System: ERMS)は、電子リソースのタイトルリストやライセンス情報等の情報を図書館員が管理し、利用者に適切に提供することを支援するシステムです。

・解説動画「ERMS でできること—NII-DEER との連携」(8分35秒)

<https://youtu.be/jerlviiisRs>

以下は、電子リソース管理システムの利用に関する質問です。

※ なお、NII-DEER のデータ利用にあたり、ERMS は必須ではありません。

10-1. 電子リソースのタイトルリストについて管理や公開をしていますか(必須、選択式、単一回答)

- ① はい(→10-3)
- ② いいえ(→11)
- ③ わからない(→11)

10-2. 電子リソースのライセンス情報について管理や公開をしていますか(必須、選択式、単一回答)

- ① はい (→10-3)
- ② いいえ(→11)
- ③ わからない(→11)

「10-1」もしくは「10-2」で「①はい」と回答された方へ

10-3 電子リソースのタイトルリストやライセンス情報の管理をどのような方法で行っていますか(任意、選択式、複数回答)

- ① ERMS で管理している
- ② Excel で管理している
- ③ 図書館システムで管理している
- ④ 管理をしていない
- ⑤ わからない
- ⑥ その他

10-4 電子リソースのタイトルリストやライセンス情報の公開をどのような方法で行っていますか(必須、選択式、複数回答)

- ① ERMS で公開している
- ② OPACで公開している
- ③ 公開をしていない

- ④ わからない
- ⑤ その他

10-5 電子リソースの管理や公開にあたり、「10-3」や「10-4」としている理由を教えてください。(必須、選択式、単一回答)

- ① 自館の図書館システムに ERMS を導入している
- ② 自館の図書館システムに ERMS を導入したいが予算が確保できない
- ③ 自館の図書館システムに ERMS を導入する必要を感じない
- ④ 管理や公開を行う必要性を感じない
- ⑤ わからない
- ⑥ その他

11 最後に電子ジャーナルや電子ブックのタイトルリストやライセンス情報の管理や公開や、NII-DEER のサービスの利用等の全般についてご意見があればご自由にお書きください(任意)

12 アンケートの回答について、国立情報学研究所の担当者からヒアリングを依頼する場合があります。ヒアリングにご協力いただける方は、担当部署・氏名・連絡先のメールアドレスをご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。